

設立趣旨書

保護活動
(非営利事業)

1.趣旨

これまで Cozy Cat Shelter は、任意団体として行政に収容された成猫や老猫を主に受け入れ、人慣れから譲渡までを丁寧に行う保護活動が続けてまいりました。活動が続ける中で強く感じたのは、「善意だけでは継続が難しい」という現実です。

当初は、目の前にいた顔が腫れ上がり痩せた野良猫を見かけ、何とか助けたいという思いで保護した事がきっかけでした。そこから、自分の手の届く範囲で、できる限り、猫の命を守ることに力を注いできましたが、資金的にも物理的にも労力的にも限界がありました。自身の生活費を削って保護を行う日々や、1人で多頭を抱えざるを得ない状況が、結果として保護猫の生活の質や、自分自身の健康・生活の両方を脅かすケースもありました。

同じように活動している他の保護活動者の方たちも、似たような課題を抱えており、保護活動の根底にある「善意」が、時として保護者本人や猫たちを苦しめてしまう状況を数多く目の当たりにしてきました。

この問題を根本的に改善するには、「善意を支える仕組み」が必要だと考えるようになりました。資金の不安を抱えず、孤独に背負いすぎず、そして何より猫たちにとって最善の環境が整えられる活動を継続するためには、助けたい気持ちだけでは限界があります。

そこで私たちは、猫の糞尿を堆肥化し、農作物を育て、その野菜を支援者に還元するという、命から命へとつながる循環型の仕組みにたどり着きました。この仕組みにより、猫たちの命を守る活動が、「農」とつながり、「地域」とつながり、「人」とつながる持続可能なかたちになります。

このモデルを社会に広げ、信頼あるかたちで資金調達を行い、他の保護活動者や地域の人々も巻き込んで共に支え合う未来を築くためには、NPO 法人格を取得し、組織としての信頼と透明性を備えることが必要不可欠だと判断しました。

NPO 法人化によって、

- ・ 公的機関や企業との連携が円滑になる
- ・ 支援者への信頼が高まり、寄付や協力を得やすくなる
- ・ 助成金・補助金の活用が可能になる
- ・ 明確な責任体制と情報公開によって、地域や行政との協働が進む

といった多くの利点があり、これは私たちが目指す「保護活動の新しい循環モデル」を全国に展開していくうえで、必要不可欠な基盤となり、Cozy Cat Shelter は、猫と人、自然と社会が調和し、やさしい循環の中で支え合える社会の実現を目指します。

2.申請に至るまでの経緯

2020 年 8 月 3 日 任意団体 Cozy Cat Shelter を設立

2025 年 3 月 26 日 特定非営利活動法人設立のための勉強会開催

2025 年 9 月 5 日 設立総会開催

2025 年 9 月 5 日

特定非営利活動法人 Cozy Cat Shelter

設立代表者 平井愛

住所

